

東郷發野村宛一九四一年十一月十六日第七八二號

貴電第一〇八三號ニ關シ

一、確認問題ニ關シテハ先方ニ左ノ通り同答セラレ辰シ

「米側「オーラル」ニ記載セラレ居ル八月二十日帝國政府言明ノ諸點
ハ右「オーラル」ニ記載ノ點ノミチ引用スルコト」九月六日及同二十五
日ノ我方提案中ニ全部包含セラレ居ルモノニシテ現内閣ニ於テモ其ノ趣
旨ニ於テ之ヲ確認スルニ何等異存ナシ但シ右ハ日米交渉ノ成立ヲ前提ト
スルモノニシテ萬一交渉不調ニ終ルカ如キ際我方ノミ右諸點ニ付拘束ヲ
受クルコトナキハ當然ノ儀ナルモ此點爲念明確ニシ置クモノナリ」

二、八月二十八日帝國政府同答中一段句ニ武力行使ニ關シ

Without Provocation ナル語ヲ用ヒ又蘇聯問題ニ關シ同同答中 *as long as*

the Soviet Union remains faithful to the Soviet-Japanese Neutrality Treaty

ト云ヒ九月六日我方案中ニ *Without any justifiable reason*

ト云ヒタルハ歸スル所何レモ同意ニテ蘇聯ニ關シ稍々詳細ニ規定セル
ハ日蘇中立條約ノ存在、獨蘇戰トノ關係ニ鑑ミ其ノ必要ヲ認メタルカ故
ナリ即チ右ハ何レモ我方トシテハ當然ニシテ且必要ナル「コリファイケ」
シヨーン」ヲ記載セルモノニシテ我方ノ平和的意圖ヲ何等制限縮少セント
スルモノニ非サルコト申ス迄モナキ所ナリ